令和8年10月 28 日
農産物販売推進東京本部

東京都中央卸売市場における本県青果物の販売状況（令和８年９月確定値）

＜野菜類＞

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
れんこん	828	89.4	88.0	445	109.5	109.2	882	446
ピーマン	693	85.9	82.5	472	84.2	85.6	2,156	420
かんしょ	1,034	88.5	84.4	271	98.5	102.0	2,847	293

※出典:①東京都中央卸売市場統計情報(月報) ②平年比は都中央実績の直近5年間の平均値 から算出(果実類、花きも同じ)

・ れんこんは、県内各産地からの入荷が本格化。入荷量は曇雨天及び台風の影響でハスがやや小ぶりなため箱数減少し前年、平年を1割以上下回った。単価は堅調に推移し、前年、平年を1割弱上回った。
・ ピーマンは、本県の抑制栽培の最盛期。曇天続きにより遅延続気味だった生育は後半回復したものの、前年、平年をやや下回る入荷となった。価格は前年、平年をやや下回った。
・ かんしょは9月に入り全量新芋の入荷。遅れ気味だった肥大は回復したものの入荷量は前年、平年を1割以上下回った。単価はやや高値で推移した前年をわずかに下回り、平年をわずかに上回った。

＜果実類＞

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 t	前年比 %	平年比 %	単価 円/kg	前年比 %	平年比 %	入荷量 t	単価 円/kg
豊水(なし)	483	70.4	71.5	361	83.4	97.6	4,215	376
アールスメロン	190	97.8	92.6	495	98.6	108.0	358	753
くり	341	101.4	86.5	754	87.3	96.8	354	760

・ 豊水(なし)は、栃木や千葉、本県産が入荷。梅雨時期の降雨に恵まれ大玉傾向。各産地で出荷前進となったことで、入荷量は、前年・平年を下回った。滞留気味であった在庫は解消されてきたものの、台風や長雨の影響で量販店の注文は鈍く、単価は、前年、平年を下回った。
・ アールスメロンは、静岡、本県産ともに曇天の影響から数量が少なく、前年、平年をやや下回る入荷量となった。単価は、彼岸需要により、前年並みとなり、平年をやや上回った。
・くりは、前年並みの入荷量で、平年を上回った。加工向けの在庫が多く注文は少なめで、単価は、前年、平年を下回った。晩生品種の前進により切り上がりが早まり、10 月は出荷量が減少する見込み。

＜花き＞

品目	茨城県産						【参考】市場計	
	入荷量 千本	前年比 %	平年比 %	単価 円/本	前年比 %	平年比 %	入荷量 千本	単価 円/kg
小菊	1,882	107.3	80.8	44	118.9	101.6	5,928	47

・ 小菊は、近年の高温による開花遅延が発生せず生育前進となったことで上旬に出荷量がまとまった。下旬は長雨の影響で下位等級の割合が増加。出荷量は、前年をやや上回り、平年を2割下回った。彼岸需要で品薄感のある引き合いの強い販売で、単価は、前年を2割程度上回り、平年並みとなった。